

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和6年度 第1回高松市文化芸術振興審議会
開催日時	令和6年7月8日(月) 19時00分～20時20分
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	(1) 高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について (2) ユネスコ創造都市ネットワーク(UCCN)への加盟申請について (3) その他、今後のスケジュールなどについて
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
出席委員	青山委員、甘利委員、鹿庭委員、鎌田委員、北岡委員、島田委員(副会長)、多田委員、田中委員、橋本委員(会長)、三木委員、水嶋委員、若井委員 計12人 (欠席3人 金川委員、木ノ下委員、林委員)
傍 聴 者	6人 (傍聴席6人程度を確保)
担当課及び連絡先	高松市文化芸術振興課 087-839-2636

審議経過及び審議結果
<p>会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。 審議会の公開・非公開について審議がなされ、公開の決議がなされた。</p> <p>(1) 高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について 令和6年4月に策定にされた「第3期高松市文化芸術振興計画」に掲げる事業の取組状況について事務局から説明し、次のとおり意見があった。</p> <p>【屋島活性化推進事業について】 (委員) ・やしまーるについて、活性化のためにイベントをするにしても、施設利用者からの不満があれば次に繋がらない可能性がある。実際に、更衣室がないなどの不満を耳にするが、そのような声があることを把握しているのか。また、改善されているのか。 (事務局) ・バックヤード等が潤沢にある施設ではないため、相当の工夫が必要だと思っている。御意見を指定管理者に共有する。 (委員) ・建物の限界があるため、予算計上するなどして、改造を検討したほうが良いと思う。 ・搬入なども含めて複雑な点が多いため、もう少し円滑になれば、より活用されるのではないか。 (委員) ・パノラマアートの観覧料が高いので、改定を検討してほしい。</p> <p>【サンクリスタル高松リニューアル事業について】</p>

(委員)

・実施設計については書かれているが、基本設計は既に終了している段階なのか。図書館は市民にとって非常に重要な場所であるため、リニューアルの概要を教えてください。

(事務局)

・リニューアル基本構想をもとに進めているが、菊池寛記念館と歴史資料館については、展示の一部改修やリニューアルであるため、基本設計ではなく実施設計から行う。

・今の時代に見合ったような、オープンなスペースや静かに読書ができる環境づくりに取り組む予定である。

(委員)

・市民が使いやすい図書館になるようにお願いしたい。

【地域アーツカウンシルによる中間支援事業について】

(委員)

・事業内容として、プログラムディレクターの選任を行うとあるが、令和6年度予算が0円になっているのはなぜか。

(事務局)

・今年度、専門人材であるプログラムディレクターを選任し、来年度から採用をする予定であることから、今年度は準備段階というところで予算が発生していない。

(委員)

・プログラムディレクターを選任するための予算は発生しないのか。

(事務局)

・選任するための予算については、「高松版文化芸術プラットフォーム事業」の項目で計上している。

(委員)

・来年度以降、プログラムディレクターを雇用した場合に、「地域アーツカウンシルによる中間支援事業」の項目に人件費が入ってくるという考え方なのか。

(事務局)

・その通りである。

(委員)

・地域アーツカウンシルについて、これから実施しようとしていることを色々な方に周知するために、視覚で分かりやすく平易な文章で書かれた資料がほしい。

(事務局)

・今後設置する地域アーツカウンシル事務局については、プロの方だけでなく、市民やこれから文化芸術活動をしたいという方に届けることが一番大事だと思っている。

・文化芸術プレイヤーズ・プラットフォームの資料等にも、多少のビジュアルを交えた資料はあるが、今一度点検をして、市民の方に広く伝わるような資料を作成する。

【文化部活動の地域移行について】

(委員)

・今年度、全国的に豊富な実績のある民間業者へ委託をするのか。

(事務局)

・現在、高松市立香東中学校の吹奏楽部に所属する生徒を対象とした指導について、プロポーザルを実施中で、休日文化部活動について、学校管理外の活動として実施・検証する事業を行う予定である。

(委員)

・予算について、年間で80万円は少ないと感じる。

(事務局)

・実証事業は、上限額を68万1,800円に設定しており、絞って実証を行うというところで、額が大規模なものになっていない。

(委員)

・現段階では、ノウハウを吸収したり、モデルケースで検証したりした上で、来年度以降にその成果を生かすという考え方なのか。

(事務局)

・まだ大規模展開をするというところには至っていない。まずは個別に実証し、そこで知見を得た上で展開をしていく予定である。

(委員)

・今年度、香東中学校の吹奏楽部が選ばれた根拠は何なのか。

(事務局)

・実際に何回程度指導に入れるかというところの調整を学校側と行った結果、香東中学校と実証事業をすることになった。

(委員)

・吹奏楽部をモデルケースとしているが、他の文化部活動についてのノウハウは、今後どのように収集することを想定しているのか。

(事務局)

・吹奏楽部で得た知見を、他の部活動に展開できる部分もあると思う。

・高松市地域部活動検討委員会を年に数回開催しており、今月も開催する予定なので、そこで意見交換をしながら、各部活動についてどのような形が適切かというところの議論をしていきたい。

(2) ユネスコ創造都市ネットワーク (UCCN) への加盟申請について

ユネスコ創造都市ネットワーク (UCCN) への加盟申請について事務局から説明し、次のとおり意見があった。

(会長)

・最終的にどこが決めるのか。

(事務局)

・本審議会と創造都市推進審議会で本案件について諮り、御意見を踏まえた上で、今後、議会等にも諮る中で決めていきたいと考えている。

(委員)

・現在、高松市が創造都市に向けて進んでいる中で、ぜひ加盟するべきだと思う。

・高松市には文化芸術関係の団体や行事が多く、審査に通った後もネットワークを活用して発展し、それがまた新しい高松市の形になるのではないか。

・音楽は世界共通であるため交流面で強く、他分野とも絡んでいく可能性があることから、音楽分野での申請が良いと思う。

(委員)

・伝統的な技術や歴史がありつつも、革新性があり創造されつつあるもので、かつ創造する拠点があるということがポイントだと思う。

・音楽は、高松における関係人口や、文化としての勢いという意味では非常に良い。

・審査するパリにおいては、レベルやプロの数、質や独自性が見られると思うので、高松にしかないもので、かつ創造している産業とどのように連携しているのかなど、申請の際に独自性を加えていく必要があり、これから何を創造していくのかという視点がすごく大事だと思う。

(委員)

・申請に関しては、「広域性や継続性のある事業かどうか」、「協力体制があるか

どうか」という点が大事である。

- ・申請のタイミングとしては、プラットフォームの形が整ってきている今がチャンスだと思う。
- ・音楽は色々な事と関わる事ができるため、ぜひ音楽分野で申請してほしい。

(委員)

- ・高松市に創造都市推進局が設立され、音楽に関する活動がここ十数年で非常に増えた。
- ・音楽は色々なものとコラボしやすいため、加盟を契機に、更に様々なコラボが生まれ、新しい風が吹くのではないかと。
- ・地方都市としては、シビックプライドの観点から、アイデンティティをしっかりと持ってまちづくりを進める良いタイミングだと思う。
- ・音楽は普遍性と独自性の両方を備えているため、音楽分野での申請が良いと思う。

(委員)

- ・高松市を広くアピールすることに関しては、積極的な取組みで良いと思うが、音楽の優位性が出てくると少し違ってくるので、あくまで音楽を通して交流していくというところを軸にしなければならないと思う。
- ・音楽は、色々な可能性があるという意味では非常に魅力的であり、多くの人を繋ぐことができると思うが、良い部分だけではなく、懸念点も事前に考慮しておくべきだと思う。

(委員)

- ・インクルーシブというのは、何か形が出来上がったならその形に則って何かをするというよりも、お互いに関わり続ける姿勢が大事である。形を決める側もそこに参加する側も、全てに関わり続けることが社会包摂の意味になると考えると、懸念点も含めて、お互いに関わり続けられるような仕組みづくりが重要になってくると思うので、その点を今後研究してほしい。

(会長)

- ・文化全体が繋がったところの代表として音楽を挙げており、音楽の領域が飛び抜けているというイメージではないと思うが、その点をはっきりさせてから皆さんの協力を得た方が良いと思う。
- ・音楽は様々なジャンルの表現活動との連携が大きく、それが高松市の特徴でもある。
- ・音楽を軸とした形で、様々なジャンルの表現活動が上手く繋がっていく契機としては面白いと思うが、申請の際にその様々なジャンルの活動をどのように取り入れていくか検討すべき。
- ・全体の流れとしては、ぜひ事務局が検討している方向で進めていただきたい。
- ・加盟を契機に、高松の文化芸術活動が更に新しい展開になっていけば良いと思う。
- ・事務局には、御意見を参考に適切に対応いただきたい。

(3) その他、今後のスケジュールなどについて

次回の高松市文化芸術振興審議会の開催日程について事務局から説明を行った。

以上